

落花生の畝と種まき

落花生 NPK= 3-6-8

施肥は甘藷配合(N-P-K = 3-7.5-10) を使う場合は 100 g/m ですじまきをし、合い土を行う。

畝幅 80 cm 株間 40 cm (2 粒を 1 株とする)

1. 80 cmの畝幅取り、最初に 1 番畝の中心 40 cmを計り、次の畝の中心は 80cm ごとに計ってゆくようにすると測量作業がはかどる。畝の中心線にダンポールを打ち、 植え付け予定の畝数の畝の中心を全て測量する。畝の中心線にダンポールを打ち、中心線を結ぶように線引きをする。
2. 3 人一組で、2 人が手前と奥に立ち中心線を結ぶように線引きをする。1 人が支えに使う杖に長い棒(鋤を逆さに使ってもよい)を持って、畝の中心線の上に足跡をつけて歩く。 次ぎ、次と畝の中心線に足跡をつけてゆく。
3. 足跡をつけた上を鋤の幅くらいで 5 cm ほどの深さに直線に溝を掘ってゆく。
4. 耕耘時点に元肥が撒かれていない場合は 硫Mg、BM重焼燐、畑のカルシウムをそれぞれ 1m あたり 30g(合計 90g) くらいとなるような混合元肥を舟などで必要分用意して同時に施肥する。
5. 施肥後かならず合い土を行ってから種まきをする。
6. 落花生の種を灯油に浸し、つま先部分に 2 粒 (マメはお互いに離して) 種を置く。
7. 種の上に掴み土を軽く寄せて覆土とし、その上を、土踏まずの部分で、種を軽く地中に押しつけるかのように踏む。あるいは、とんとんと手でたたく。
8. 畝の中心部分の土を軽く整える、種は 3 cm くらいの深さで、あまり深くしてはいけない。
9. 畝の中心線をイメージしながら、荒らしてしまった畝間を鋤などで軽く整地をしておく。
鳥よけのため、ネットは施工した方がよい。 除草、追肥は適時に様子を見てを行う。

